Convento de Santo Agostinho

について
サント・アゴスティーニョ修道院（Convento de Santo Agostinho）

サント・アゴスティーニョ修道院は、モイーニョ・ド・パペル（Moinho do Papel）に近いリス（Lis）川の左岸に、教会や、修道院、回廊、古い神学校の建物とともに建っています。

この修道院は、ドン・フレイ・ガスパル・ド・カザル（Dom Frei Gaspar do Casal）司教によって1579年に創設されたもので、メインドアの上部にはその紋章を見ることができます。司教は、ドン・セバスティアン（Dom Sebastião）王より修道院建設の許可を与えられましたが、建設工事が終わったのは17世紀になってからのことです。その後、18世紀に、いくつかの修復が行われています。2本の付け柱でくっきりと区切られた2つの大きな塔のあるファサードに象徴されるように、質素な印象を与えるこの修道院の建物は、カテドラルにも共通する堂々とした風格を湛えて、街の風景の中に佇んでいます。神学校は、1671年にドン・ペドロ・ヴィエイラ・ダ・シルヴァ（Dom Pedro Vieira da Silva）司教によって創立されたものです。

ここには、イエズス会の権力と影響力の低下を狙ったマルケス・デ・ポンバル（Marques de Pombal）侯爵の宗教政策による、イエズス会士に対する迫害から逃れてきたマラニャン（Maranhão）（ブラジル）の司教が、長期間暮らしていました。1834年の修道会に対する弾圧の後、この修道院は軍の施設へと姿を変えましたが、1944年に、教会はレイリア（Leiria）教区の保護下に戻されました。

また、教会の内陣にあるライアス製のアルターピースは、エルネスト・コロディ（Ernesto Korrodi）の作品の中でも非常に興味深いものです。教会を除き、修道院の建物は、現在あまり良い状態を留めていません。

問い合わせ先

Rua Tenente Valadim e Largo Infantaria, nº 7 2410-190 Leiria

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com